

1月に1尾、7月に2尾、9月に1尾出現した。出現海域は東支那海域と近海域で、出現個体の全長範囲は7.0-12.2mmである。

50. Tripterygiidae

ヘビギンボ科 (17回出現、213尾)

Tripterygion macrobrachium

(FOWLER) テナガヘビギンボ

(1回出現、3尾)

1973年3月のB-8に全長範囲7.0-16.5mm、3尾が出現した。

Tripterygiidae gen. sp.

ヘビギンボ科種不明

(16回出現、210尾)

秋期から春期にかけて出現し、出現盛期は冬期、出現海域は黒潮主流域と湾内である。しかし、黒潮主流域には大型の全長23.4mm、1尾しか出現しなかった。

時刻別の1網当りの出現個体数は図-42に示した通りである。

06-08時の階層と16-17

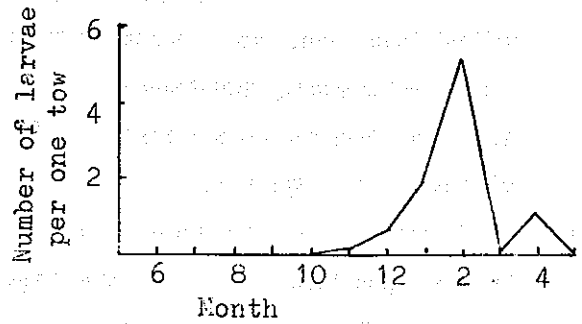


Figure-41 Relationship between month and occurrence of larvae of Tripterygiidae per one tow

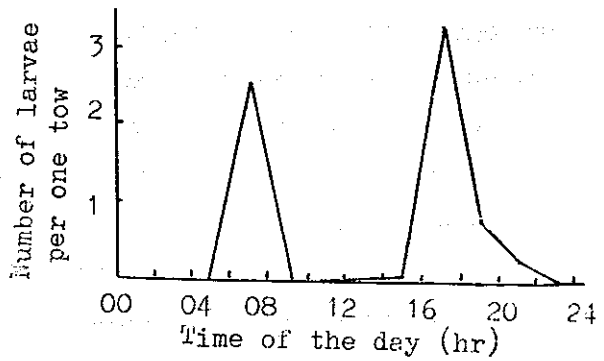


Figure-42 Relationship between time of the day and occurrence of larvae of Tripterygiidae

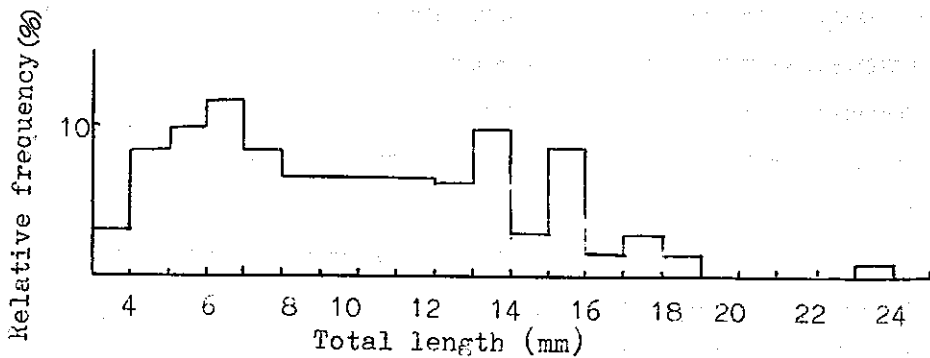


Figure-43 Total length composition of larvae of Tripterygiidae

時の階層に山がみられ、朝と夕に多く出現した。出現点の表面水温範囲は21.1-26.8°Cで、21.1-22.0°Cの階層に90%が出現した。出現個体の全長組成は図-43に示した通りで